

汚職対策(刑事司法) Criminal Justice Response to Corruption		継続	
対象国の条件 : 全世界対象			
研修コース番号 : 201984513-J002			
案件番号 : 201984513			
主分野課題 : ガバナンス/法・司法			
副分野課題 :			
使用言語 : 英語			
案件概要			
刑事司法分野の国際研修に豊富な実績を有する国連アジア極東犯罪防止研修所（UNAFEI）による研修である。汚職の探知、取締り、予防に従事する警察官、検察官、裁判官、汚職対策委員会の職員等を対象とし、各国のベストプラクティスを共有する。プログラムは国内外の講師による講義、視察、発表および討議から構成される。			
目標／成果		対象組織／人材	
【案件目標】 汚職対策について、各国の法制度及び実務の現状並びに問題点を共有するとともに、ベストプラクティスを含む国際的動向を習得し、これらを踏まえて各国がそれぞれの国の実情に応じて講じ得る対応策を策定する。加えて、各国の実務改善のための継続的な協力と情報交換に向けたネットワークを構築する。 【成果】 1. 汚職対策について、参加各国の現状と問題点が共有される。 2. 汚職対策について、日本の経験を含む最新の国際的動向が共有される。 3. 汚職対策について、各国の抱える問題に対応した効果的な対応策が検討される。 4. 汚職対策について、問題改善のための諸方策の方向性が共有されるとともに、協力と情報交換に向けたネットワークが構築される。		【対象組織】 法務省、内務省、汚職防止委員会等の汚職防止に関する政策立案・立法に関与する機関、および汚職事件の捜査・訴追・裁判に従事する機関 【対象人材】 ・汚職防止に関する政策立案・立法に関与する比較的高い地位にある政府職員 ・汚職事件の捜査、訴追、裁判に従事する捜査官、検察官、裁判官	
内 容		本邦研修期間	2019/10～2019/11
【事前活動】 Individual Presentation Paperの作成、国連アジア極東犯罪防止研修所（UNAFEI）教官による指導 【本邦研修】 1. 国別発表 Individual Presentation、質疑応答 2. 講義 汚職対策に関する講義（講師：UNAFEI教官、日本の刑事司法機関職員、海外招聘講師） 3. 視察 検察庁等、汚職対策に関連する機関の視察 4. グループ発表 小グループによる汚職対策に関する討議と結果発表		担当課題部	産業開発・公共政策部
		所管国内機関	JICA東京（産業公共）
		関係省庁	法務省
		実施年度	2017～2019
		主要協力機関	国際連合アジア極東犯罪防止研修所（UNAFEI）
特記事項 及び ホームページ	< 国際連合アジア極東犯罪防止研修所（UNAFEI） ・ H P > http://www.unafei.or.jp/		